

若狭歴史民俗資料館(1/2)

若狭歴史民俗資料館は若狭の魅力の玉手箱！！

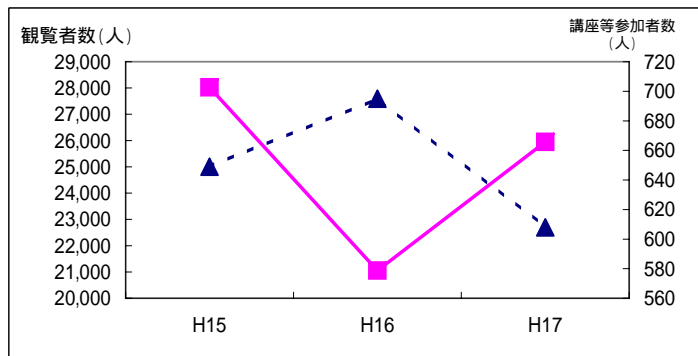
所在地	小浜市遠敷2-104		
設置年月日	昭和57年10月1日		
施設の種類	博物館	施設管理主体	県
設置の目的	若狭地方の考古・歴史・民俗などの調査研究・収集・保管および展示等を行い、この地方の豊かな文化遺産の保護および県民の文化の向上に寄与することを目的とする。		
概要 (構造、面積、主な機能)	鉄筋コンクリート2階建 延床面積 3,218.75㎡		
職員数	職員6人 非常勤嘱託2人 アルバイト2人 計10人		

利用状況等

	H15	H16	H17
観覧者数(人)	28,027	21,054	25,948
講座等参加者(人)	649	695	608

利用者負担(利用料金)等

入館料	常設展	大人100円
	企画展	別に定める



利用状況の推移

平成15年度は「若狭路博」と特別展「若狭路千年年」を開催し、観覧者が大きく伸びました。
平成16年度は観覧者数が21,054人まで減少しましたが、平成17年度は恐竜博物館の移動展および特別展「若狭湾と中世の海の道」を開催し、観覧者数は約26,000人まで回復しました。

平成17年度の特徴について

事業実績

特別展「若狭湾と中世の海の道 - 若狭湾の浦々と日本海流通 -」(10月8日~11月6日)のほか、テーマ展として「みんぱく動物園 in Wakasa」(6月25日~7月31日)、「茶 - 越前・若狭の茶文化 -」(10月20日~11月1日)、「サックリ - 昔の仕事着 -」(12月22日~1月15日)、「お水送り - 若狭の水・ご香水 -」(2月25日~3月5日)の4回、県立恐竜博物館と県立美術館の移動展3回を行いました。特別展は、中世の文献を主にしたのですが、地域の文化遺産を紹介したものととして、高い評価を受けました。

また、エントランスギャラリーで、「こどもの目で見たふるさとの歴史展」(10月8日~11月6日)、「資料公開・若狭めのうの玉磨用具」(3月1日~3月21日)、3回の季節展を開催しました。「こどもの目で見たふるさとの歴史展」は、若狭の小学校の児童の海の研究活動を公開し、「資料公開・若狭めのうの玉磨用具」は、当館蔵の資料が国の登録有形民俗文化財になったことにより、開催したものです。

特別展記念講演会、郷土史講座等を16回開催しました。

当館は、優れた収蔵設備・取扱技術をもち、地域の社寺の資料の受託・保存をしています。文化遺産の保護だけでなく、仏像などを公開する場としても、観覧者に喜ばれています。

お客様への対応と体験的メニュー

若狭歴史民俗資料館では、職員がお客様に直接説明する機会を数多くもっています。お客様の関心に合わせた常設展の解説を日常的に行い、特別展でも担当者が解説を行い、好評でした。

また、実技的(体験的)な催しの多かったことも特色です。比較的簡単な内容とし、資料館やささまざまなものごとに親しみ、関心を呼び起こす機会として大事にしていきたいと思えます。



「茶の花ストラップ」
テーマ展に合わせてエントランスホールで行ないました。



重文の鳥浜貝塚出土の丸木舟の解説を聞くお客様

若狭歴史民俗資料館(2/2)

行政コスト計算書(平成17年度) (単位 千円)

		総額	構成比	前年比
人にかかるコスト	人件費	63,888	48.5%	97.3%
	退職給与引当金繰入	180	0.1%	-
	計	64,068	48.6%	100.1%
物にかかるコスト	物件費	35,713	27.1%	124.1%
	維持補修費	8,033	6.1%	738.3%
	減価償却費	22,511	17.1%	100.0%
	計	66,257	50.3%	126.5%
その他	公債費(利子)	0	0.0%	0.0%
	その他	1,469	1.1%	86.0%
	計	1,469	1.1%	83.5%
合計		131,794	100.0%	111.6%

バランスシート(平成18年3月31日現在) (単位 千円)

借方		貸方	
資産		負債	
有形固定資産	760,893	固定負債	47,340
投資等	0	流動負債	0
流動資産	0	正味資産	713,553
計	760,893	計	760,893

施設の特徴
若狭で最大で、広い内容を扱う歴史博物館です。重要文化財「鳥浜貝塚出土資料」を所蔵し、多くの若狭を代表する文化財を展示しています。

今後の課題
今後、学校教育の支援にも注力し、地元の方により親しんでいただけるよう努めます。
また、建物の老朽化・手狭化、障害のある方への設備対応などの解決すべき問題があります。



常設展示の一部 多彩な若狭の祭りを紹介しています。

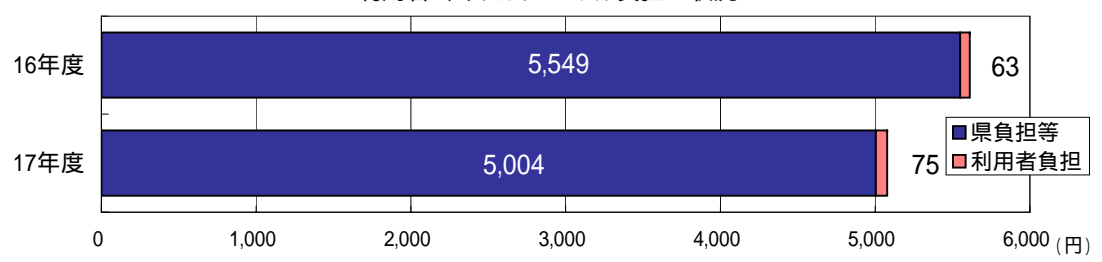
(単位 千円)

収入				
収入	利用料等収入	1,939	1.5%	146.1%
	その他収入	7,639	5.8%	368.0%
	一般財源	122,216	92.7%	106.5%

(前年比)

利用料等収入計	1,939,000 円	146.1%
利用者1人あたり平均利用料	75 円	119.0%
利用者1人あたりコスト	5,079 円	90.5%

利用者1人あたりのコスト負担の状況



バランスシート、行政コスト計算書の特徴

- ・平成17年度には施設内のアスベスト除去工事、空調機器の一部の更新を行い、維持補修費が前年度より6,945千円増加しました。
- ・有形固定資産のうち、土地・建物が646,085千円で84.9%を占めています。
- ・施設の設置が昭和57年と古く、減価償却費の割合が低くなっています。
- ・利用者1人あたりの平均利用料は、平成16年度の63円に対して75円になりました。
- ・利用者数が増加したため、利用者1人あたりの経費も5,612円から5,079円に減少しています。

今後の事業方針

若狭歴史民俗資料館の目的は、嶺南地域を主とした地域の歴史・文化を伝えることです。したがって、諸事業も若狭を調べ、若狭を知っていただくことを中心に実施します。

従来、人気が高かった仏像などを重視しつつ、若狭をさまざまな側面から紹介する活動を行い、さらに展示スペースやロビーを利用して、他地域の文化を紹介する事業にも取り組みます。また、こうした事業について積極的な広報活動を行い、多くの方に利用していただけるよう努めます。

取組み内容

平成17年度は文書やさまざまな文化遺産を中心にした「若狭湾と中世の海の道」、平成18年度は「発掘された若狭・越前」を特別展として開催しています。いずれも若狭の地域に根ざした内容で、地元の方の高い評価をいただいています。広報も嶺南地域のほか、京都府北部、滋賀県北部に対しても行い、観覧者の増加の一因となりました。また、インターネットの利用による広報も徐々に充実させています。